

気仙沼の高校生
マイプロジェクトアワード

小学生に英語の楽しさを伝えたい



チーム みふも

Profile / (写真左から) 吉野桃愛さん、畠山詞さん、林未香さんの東陵高校2年生3人で構成されるチームで「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード2021」に出場し、アワード初となる市長賞とオンライン共感賞をダブル受賞。市内の小学生を対象に英語を楽しく学べるイベント「えいごであそぼう! ~高校生と英語体験教室~」を行っている。



英語体験教室の様子

一活動を始めたきっかけは

おとしにリーダーである吉野が活動を始め、その年のマイプロジェクトアワードに出場後に他の2人を誘い、昨年から3人で活動してきました。

一活動の内容は

私たちは英語が大好きです。海外経験はゼロですが、洋楽やSNSを通して普段から英語に触れています。その中で、日本にない文化を知ったり、多様性を学べたりなど、将来の可能性も広がり、英語を学ぶことが楽しくなりました。しかし、英語能力指数での日本の順位は下がり続け、日本の英語能力は世界で遅れをとっています。そこで、学校で英語学習を始める前の小学生を対象に、英語を話す楽しさを体感してもらえる場を、3人のALTの先生と一緒に作っています。そこでは、単語や文法を覚えることよりも話してみ

ることを大切にしています。また、生きた英語学習には「楽しさ」が必要不可欠なので、簡単な英語でできるゲームを通して、楽しく英語に触れるように工夫しています。イベント終了後には、ALTの先生と振り返りを行ってプログラムを見直すなど、試行錯誤を繰り返してきました。昨年1年間で計6回開催し、延べ107人も小学生が参加してくれました。私たちの活動を通して、英語が好きな子どもたちが増え、気仙沼が世界の架け橋となり、気仙沼の魅力をも日本のみならず世界中に発信できるようになることを目指しています。

一今後は

これからもより多くの小学生に英語の楽しさを伝えること、そして意志を継ぐ後輩を探していきたいです。

ぬま大学 技能実習生に気仙沼の暮らしを伝えたい

一ぬま大学受講のきっかけは

昨年気仙沼に移住し、気仙沼で何かやってみたくらいと思いき、ぬま大学を受講しました。

一活動の内容は

職場で身近なインドネシアの技能実習生と話していく中で、彼らがあまり気仙沼を知らずに訪れていることを知りました。そこで、実習生が移住する前に、受け入れ企業が「気仙沼の暮らしを知れる日めくりカレンダー」をプレゼントする仕組みを考えました。カレンダーは1カ月間のカウントダウン式で、受け入れ時期が異なっても使用できるようにしました。さらに、市全体で彼らを歓迎していることが伝わるように、企業内だけでなく地元の方からのコメントも添え、気仙沼での3年間を楽しみ、豊かに暮らせるきっかけとなるカレンダーとしました。

今は制作したカレンダーを改善しながら、実際にプレゼントすることを目指しています。

一活動の中で出てきた課題と解決のためにやっていることは

実際に私が聞いている技能実習生の声は少ないので、インドネシア関連のイベントに出かけたり、来夏開催予定のインドネシアフェスティバルの運営に参画したり、できる範囲で関わりを増やしています。

一皆さんに伝えたいこと

インドネシアの人たちは、話しかけると皆フレンドリーに話してくれます。一市民である彼らともっと気軽にコミュニケーションが取れるまちになってほしいと思います。まずは関連するイベントがあったら参加してみる、実習生に話しかけてみるというような一歩を踏み出す人が増えたらうれしいです。



みやた ひとみ さん

Profile / 1998年生まれ。福島県いわき市出身。「ぬま大学」第7期生。東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科卒業。インターン受け入れ企業として関わりを持った株式会社菅原工業に今年度入社。ぬま大学では、技能実習生が気仙沼に移住する前に気仙沼の暮らしを知ることができる日めくりカレンダーを制作する取り組みを発表し、最優秀賞を受賞した。



実習生との交流の様子

気仙沼のために何かやってみたい!

気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード

気仙沼に在学中の高校生が、自分の興味関心をプロジェクトにして地域で実践したこと、これから実践したいこと(マイプロジェクト)を地域の人に向けて発表します。(延べ修了生 107人)



今年度の様子を
オンラインで
視聴できます
(申込必須)

気仙沼市の 人材育成事業

まちづくり実践塾「ぬま大学」

「気仙沼で何かやってみたい」という10～30代の若者が、気仙沼で実行するまちづくりプラン(マイプラン)を作り上げていく実践塾。約半年間の講義を通して、自分や地域について考え、多様な人となつながらマイプランを作成し、最終報告会で地域の人に向けて発表します。(修了生 93人(1～7期))



第7期
最終報告会
の様子を
オンラインで
視聴できます

市の人材育成事業はこのほかにも...

地域住民による主体的なまちづくりを推進するため、さまざまな年代や分野に対応した、地域の担い手育成を行っています。

- アクティブ・ウーマンズ・カレッジ(AWC) …18歳～40代の女性対象/延べ修了生56人
- 気仙沼経営人材育成塾…経営者や起業家対象/修了生33人

※先行事業の経営未来塾の修了生は85人

アクティブコミュニティ塾

40代以上の市民が受講者同士のグループワークや他市町のコミュニティ活動の事例研究などを通じて、地域を元気にする活動について学びます。(延べ修了生71人)

アクティブ コミュニティ塾 パークゴルフで地域を盛り上げたい



おの であら まさみ
小野寺 正美 さん

Profile / 1957年生まれ。登米市出身で現在は市内常楽在住。「アクティブコミュニティ塾」第4期生。現在は「田中二区パークゴルフ愛好会」を立ち上げ、パークゴルフを通じて地域を盛り上げている。

ーアクティブコミュニティ塾受講のきっかけは

田中二区自治会の監事として、地域の各種会議や行事を見てきましたが、長期間、組織の体質や人が変わっていないことがわかりました。そして、地域を良くしていくためには自分も勉強しないといけないと思い、受講することにしました。

ー考えたプランや活動の内容は

コミュニティ塾では高齢者の方々が地域内の生活道路を散歩することで子供たちの通学を見守り、休日には親子で散歩するというような地域住民の健康やコミュニティづくりのためのプランを考えました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で提案しようと思っていた地区の会議ができずにいました。そんな中、国勢調査の調査員として地区内を回っている時にパー

クゴルフをしている方が結構いることがわかりました。まずはパークゴルフの発起人会を作り、回覧板で参加者を募集しました。さらに自治会体育部主催で体験会を行って好評だったこともあり、昨年4月には田中二区パークゴルフ愛好会を立ち上げました。現在は毎月第2・4日曜日に練習を行い、大会にも出場しています。市内各地でパークゴルフ愛好会ができていますので、今後は気仙沼全体のレベルアップを図りたいと思っています。パークゴルフをきっかけに少しずつ地域のコミュニティが活性化し、良い方向に変わってきていると感じています。

ー今後は

「楽しく健康に 時に緊張」をモットーに今後もパークゴルフを続けていきたいと思えます。皆さんも健康で生涯現役で楽しみ長生きしましょう!



▲コミュニティ塾での様子